

LET'S 桜井まちづくり交流センター

発行
一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091
桜井市桜井1259番地
エルトさくら内
TEL&FAX 0744-43-7773
URL <http://lets.some.jp>
E-mail lets@some.jp
発行責任者 堀井良殷

うるわしの桜井

新設 「まちづくり部」に聞く！

市民が豊かで快適な暮らしを送るには、市民と行政の協働による新しい社会ニーズを充足するまちづくりが必要である。

桜井市では今年四月一日に市役所の組織が改変され、新たに「まちづくり部」が設置された。市の広報によれば、「まちづくり部」は桜井市が目指す「観光・産業創造都市」を具現化するために「行政の組織を横断的につなぎ、機動的な運営を図る役割を果たすために新設され、市民・企業・関連団体との協働体制を確立する」とされているが、今後私たち市民とどのように関わることになるのか？

今回はこの「まちづくり部」の政策と方向性について、清水部長、竹田次長、西川次長にご出席いただき、うるわしの桜井をつくる会の高瀬事務局長、井上理事、東理事が話を聞いた。

まちづくり部の役割は 組織横断的取組み

うるわしの桜井をつくる会(以後うるわしの会と表示) 「まちづくり」という組織の名称は、なんとなく柔らかい雰囲気です。親しみやすいネーミングだと思ふ。松井市長からは具体的にどのような役割を命じられているのですか。

まちづくり部 「まちづくり部」は今年四月の組織改変により新たに発足しました。観光まちづくり課、商工振興課、農林課の3課を所管し、第5次総合計画の目標である観光・産業創造都市を推進し、賑わいと活力のあるまちづくりをする役割を担っています。特に、少子高齢化が進み、更なる人口減少が予想されている中で企業誘致や産業振興により雇用先

を増やして定住人口の確保を図るとともに、自主財源である税収を確保すること。また、三輪、桜井本町通り周辺、初瀬門前町など市内各地で進められているまちづくりに積極的に関わり、市民と共に歴史的な遺産や景観を守り、活かしたまちづくりに取り組むよう指示を受けています。

うるわしの会 桜井市が抱える様々な課題解決のため、従来の縦割り行政の弊害をなくして横断体制で取り組むための大きな改革だと思ふが、それだけに市長の強力なリーダーシップが不可欠ですね。

まちづくりの政策は多岐に渡ると思ふが、重点的に取り組もうとしている事業は何ですか。

まちづくり部 中和幹線の企業誘致と各地域でのまちづくりへの支援、特に三輪参道整備を重点的に考えています。



うるわしの会 市民協働課もまちづくり部の所管であつても良いのではないかと思います。

まちづくり部 横断的な取り組みとして、まちづくり部と都市建設部と市民協働課からなる連絡会を作り、連携を取れる体制になっています。

うるわしの会 横断的な取り組みが肝要で、スピード感を持って事業を進めていただきたいと思ふ。必要なら市民の力を借りて事業を進めるのもひとつの方法でしょう。まちづくり部は市民と密な接触を持っていただきたいと思ふ。

まちづくり部 これからは市民の声を聞くだけでなく、一緒に作り上げていく、一緒に行動するという姿勢で取り組んでいきたいと思つています。

プロジェクトに スピード感を！

うるわしの会 現在桜井市が取り

組んでいるプロジェクトの進捗状況については、まずは三輪・大神神社参道の整備はどうなっているのでしょうか。

まちづくり部 三輪参道整備についてはは自治会や住民、関係団体が話し合いを継続しています。参道は平成二十七年度の県の新規事業として採択されることを目指しています。

うるわしの会 奈良県主導の事業ではあるが、桜井市が一步前に出て全体のグランドデザインを示しながら、そろそろ関係方面の同意と実現に向けて調整する時期が来ているのではないのでしょうか。

うるわしの会 次に纏向遺跡の整備と活用についてはどうでしょうか。

まちづくり部 平成二十五年十月に国の史跡指定を受けた旧纏向小学校跡地や大型建物遺構を史跡として整備するために、今年度から纏向遺跡の保存管理計画の作成を始めます。

旧纏向小学校跡地はメクリ1号古墳などの遺構を含む史跡公園とし、休憩所やトイレなどの設備を整えて、観光客の案内施設としても利用できるようにして纏向遺跡の散策の拠点としての活用ができないかと考えています。

また、纏向学研究センターでは、纏向ファンを増やすための方策を検討中です。

うるわしの会 中和幹線沿道の商業施設誘致計画はどの程度進んでいるのでしょうか。

まちづくり部 中和幹線沿いに商業施設を誘致するための計画地の約6割について五社が進出を予定しており、地権者との予約契

約が完了し、具体的な作業が進んでいます。残りの地域については、複数の問い合わせがありますが、具体的な計画には至っていません。早期誘致に鋭意取り組んでいきます。

うるわしの会 具体的に出店が決まっているのであれば市民にも知らせしてほしい。そのことが市役所と市民との距離を近付けることになるのではないかと。

優良企業を誘致することは地域の雇用にもつながり地域の発展のために重要な政策ではありますが、併せて景観、環境保全も重要な要素です。中和幹線沿道の景観保存への取り組みが必要だと思います。

まちづくり部 平成二十三年十月に市街化区域に変更になり、市の玄関口であることから、建築物の高さを十五メートルに制限し、派手な色彩を避けて、道路から十メートル控えて建物を建てることで前方の見晴らしを確保するなど、条例に基づいた地区計画をすることで景観保全に努めています。



三輪・大神神社参道



中和幹線・大福地区

うるわしの会 県農業大学校6次産業化研修拠点整備計画は桜井にとっても大きな期待のもてるプロジェクトです。進捗状況はいかがでしょうか。

まちづくり部 池之内にある農業大学校は、現在奈良県が「ならの食と農の魅力創造国際大学校（仮称）」として再編するとともに農業総合センターと併せて整備することになっています。

また、高家地区に新たに「フードクリエイティブ学科（仮称）」が設置される予定です。ここでは農業を理解した上で調理に関する知識・技術を総合的に習得した「食の担い手」を養成します。

同時にオーベルジュと呼ばれる田園風景の中で地場産野菜を使った料理を提供するレストラン兼宿泊施設で調理・サービスの実習をすることで即戦力となる人材が育成される予定です。

桜井市の農業振興や観光客誘致への大きな起爆剤になると思われますので、市としても積極的に協力しながら地域にも活性化の波及効果が出るように取り組んでいきます。

うるわしの会 桜井市としても具体的な取り組みが必要ですね。まちづくり部 桜井市へ訪れた観光客などに食事や宿泊ができる観光コースを提案することを検討しています。

また、周辺地域の皆さんには耕作放棄地の解消や景観に見合った作物の耕作などで協力していただけるよう働きかけて、桜井と飛鳥を結ぶ観光ルートを開発したいと考えています。

うるわしの会 農業振興の全国モデルとなるよう桜井市も取り組んで欲しい。施設で研修を終えた人材が市内で出店できるようなことも考えたいですね。

まちづくり部 市内の空き家などを活用したレストランなどが出来ないか考えています。

うるわしの会 給食センターの移転計画はどのような状況なのか。まちづくり部 まちづくり部としては直接関わってはいません。

給食センターの改築計画は行財政改革の中で積み残された大きな課題として、教育委員会を中心に、安心安全な給食の提供ができるよう、現在検討作業が進められています。

うるわしの会 陽だまり政策の推進はどの程度進んでいるでしょうか。具体的な取り組みについては？

まちづくり部 現在、福祉保健部を中心に関係各課が連携し、諸施策の推進に取り組んでいます。

子どもからお年寄りまであらゆる市民が安心して生き生きと暮らせるために、家庭・地域・関

係機関が連携して「助け合い」につながる「こと」のできるコミュニティの拠点づくりに取り組んでいます。「地域福祉」と「医療」の充実が最大の課題です。

「地域福祉」の面では、地域福祉相談員事業が今年四月からスタートして、各中学校区に拠点を置く地域福祉相談員を配置しました。「医療」の分野では、医療と介護の連携の取れた地域包括ケアシステムの構築に向けて、今年三月

に「桜井市地域医療福祉懇話会」が立ち上がり、医師会、歯科医師会、薬剤師会、済生会中和病院等の関係機関をはじめ、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、民生児童委員と桜井保健所が連携して救急医療、在宅医療・福祉の二つの分科会で議論が進められています。

まちづくり部としても地域のつながりの中で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいきます。

うるわしの会 市民からは、陽だまり政策は松井市長の一丁目一番地の公約。もっとスピード感を持って進めてもらいたいという声があります。

うるわしの会 人口減少と高齢化に対して、桜井市としてはどのような対策を考えていますか。

まちづくり部 この問題については、福祉保健部やまちづくり部だけでなく、すべての部署が連携して取り組むべき課題であると認識しています。

特に若年女性が大きく減少するとの推計もあることから、若い世代が桜井市で働き、子育てできる魅力ある環境づくりに各部署と連携して取り組んでいきます。

うるわしの会 桜井市へ観光で訪れた人が住みたいと思えるようなまちづくりに努めなければなりません。

まちづくり部 桜井へ移住された方々が、どういう思いで桜井を選んだのかを調査して定住人口の増加に努めていきたいと思っています。

うるわしの会 まほろばセンターに開設された「市民活動交流拠点」の活用が始まっています。桜井にはまちづくりに関わる団体が多数あり、様々な活動をしています。今後、まちづくり部としてこれら市民団体とどのように関わっていくのでしょうか。

まちづくり部 第5次総合計画には「協働のまちづくり」が重要な柱として掲げられています。エルト二階のまほろばセンターに市民活動交流拠点が出来たことで市民団体の交流が大きく進むものと考えています。

窓口は市民協働課になっていますが、まちづくり部では各地域のまちづくりに取り組む市民団体と積極的に係わっていくことになりそうです。

「観光産業創造都市 人と人と

のつながりから新たな歴史が始まるまち」の実現は行政と市民の協働が不可欠であると認識しています。

「まちづくり部」の意欲的なお話を聞いて、これが言葉通り具体化するのあれば大いに期待したいと思います。時の流れと共に社会が変化する中で桜井市民のまちづくりへの関心は年々高まっています。

かねてより当会が桜井市に提案していた「市民活動交流拠点」が実現し、現在二十団体がここを拠点として活発に活動しています。

今後、市民参加のまちづくりを進めるためには、行政の本気度が問われています。市職員と市民双方のまちづくりへの意識改革が求められています。

人口減少・高齢化の時代を迎え、今後やるべきことは山積していますが「まちづくり部」には役所の尖兵となって、その行動力を発揮していただきたいと思っています。

(編責 井上孝良)

会員募集中

「うるわしの桜井をつくる会」は常時、新規会員を募集しています。まちづくりへの提案やアイデアを持ち寄り住みよいまち桜井を市民の力で実現することにご賛同いただける方の参加をお待ちしています。友人・知人をお誘いの上、是非ご協力下さい。

年会費

【個人】1口 2,000円
【法人】1口 20,000円

(振込先)

- ◆大和信用金庫・本店営業部
普通預金 No. 2177565
□座名義 うるわしの桜井をつくる会
- ◆ゆうちょ銀行
振替口座 No. 00900-5-233713
□座名義 うるわしの桜井をつくる会

日本最古の神社

三輪明神 大神神社

- 家内安全
- 商売繁盛
- 建築方除
- 交通安全
- 災難除
- 厄除祈願
- 縁結び
- 開運招福
- 心願成就
- 合格祈願
- 病気平癒

※〒633-8538 桜井市三輪 1422 TEL. 0744-42-6633 (代)
※JR「三輪駅」下車すぐ・近鉄「桜井駅」北口下車(北へ約3km)
※土・日・祝日は桜井駅北口より直通バスを運行しています

おおみわ

検索

